

第124期 中間報告書

2015年1月1日 ▶ 2015年6月30日

CONTENTS

株主の皆様へ…1

領域別および製商品別の概況…3

研究開発の状況…5

トピックス…6

財務諸表の概要…7

株式の状況…9

会社の概要…10



鳥居薬品株式会社

証券コード 4551

株主の皆様へ



株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
第124期（2015年12月期）第2四半期累計期間の経営成績につきまして
ご報告いたします。ご高覧頂きますようお願いいたします。

当社は今後とも「世界に通用する医薬品を通じて、お客様、株主、社会、社員に
対する責任を果たすとともに、人々の健康に貢献する」という企業ミッションのもと、
持続的成長の実現に向け、全社一丸となって取り組んでまいります。今後ともより
一層のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

2015年9月

代表取締役社長 **高木正一郎**

経営成績について

当第2四半期累計期間の経営成績につきましては、売上
高は、294億円と前年同一期間^(*)に比べ24億円(9.3%)
増加しました。

主要な製品・商品の販売状況につきましては、2014年
5月から販売しております「リオナ錠(高リン血症治療剤)」が

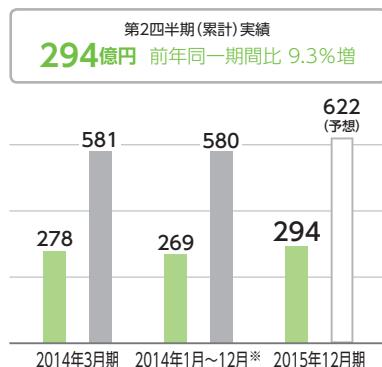
22億円と前年同一期間に比べ19億円(719.6%)増加した
ほか、「スタリビルド配合錠(抗HIV薬)」は14億円と前年
同一期間に比べ3億円(38.1%)、「レミッチカプセル(血液
透析患者における経口そう痒症改善剤)」は74億円と前年
同一期間に比べ3億円(5.4%)と、それぞれ増加しまし
た。なお、2014年10月から販売しております「シダトレン

※当社は、2014年12月期から、決算期を毎年3月31日から毎年12月31日に変更しており、2014年12月期は9ヶ月決算となっております。そのため、当期実績との比較として前年同一期間である2014年1月1日から2014年6月30日までの6ヶ月間の数値を記載しております。また、2015年12月期通期予想との比較として2014年1月1日から2014年12月31日までの12ヶ月間の数値を記載しております。

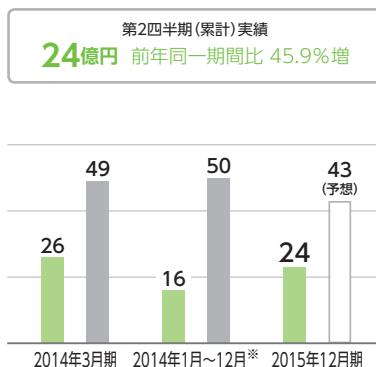
決算ハイライト

■ 第2四半期(累計) ■ 通期 (単位: 億円)

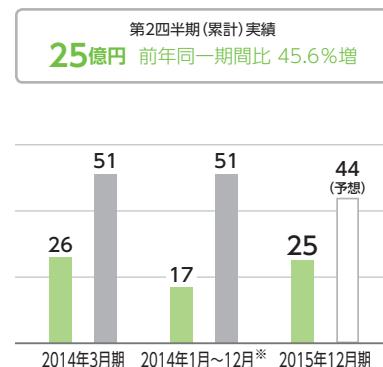
売上高



営業利益



経常利益



スギ花粉舌下液(減感作療法(アレルギー免疫療法)薬)については1億円となりました。

費用面におきましては、売上原価は売上高が増加したこと等により141億円と前年同一期間に比べ16億円(13.2%)増加し、販売費及び一般管理費は128億円と前年同一期間に比べ0.7億円(0.6%)増加しました。

以上の結果、営業利益は24億円と前年同一期間に比べ7億円(45.9%)増加し、経常利益は25億円と前年同一期間に比べ7億円(45.6%)増加しました。四半期純利益につきましては、16億円と前年同一期間に比べ2億円(15.8%)増加しました。

通期の業績予想について

通期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の業績を踏まえ、第123期報告書でご報告した予想数値を次の通り修正しております。

	前回予想	修正予想	対前回予想(増減率)
売上高	630億円	622億円	△8億円(△1.3%)
営業利益	55億円	43億円	△12億円(△21.8%)
経常利益	56億円	44億円	△12億円(△21.4%)
当期純利益	35億円	28億円	△7億円(△20.0%)

売上高につきましては「シダトレン スギ花粉舌下液」の販売状況が計画を下回って推移していることにより、前回予想を下回る見込みとなりました。利益面につきましては、売上高の減少に加え、主に研究開発費が室内塵ダニアレルギー疾患(アレルギー性鼻炎)を対象とした減感作療法(アレルギー免疫療法)薬「TO-203」(舌下錠)の小児適応に係る国内第Ⅲ相臨床試験の実施により当初計画を上回る見込みとなったことから、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回予想を下回る見通しとなりました。

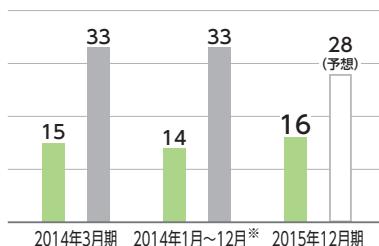
なお、当期の配当金につきましては、1株当たり年間48円を予定しており、前回予想からの変更はありません。

Financial Highlights

四半期(当期)純利益

第2四半期(累計)実績

16億円 前年同一期間比 15.8%増



配当について

配当方針

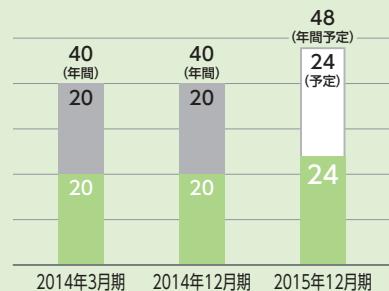
当社は、株主の皆様への適正な利潤の還元を経営の重要課題の一つと認識し、剰余金の配当につきましては、安定的かつ継続的に実施することを基本方針としております。

上記基本方針の下、経営体質の強化や将来の事業展開等を目的とした中長期的な視野に立った投資等に備えることも勘案したうえで、株主の皆様へ安定的還元を行ってまいります。

● 中間配当支払開始予定日 9月2日

1株当たり配当金

■ 中間配当 ■ 期末配当 (単位:円)

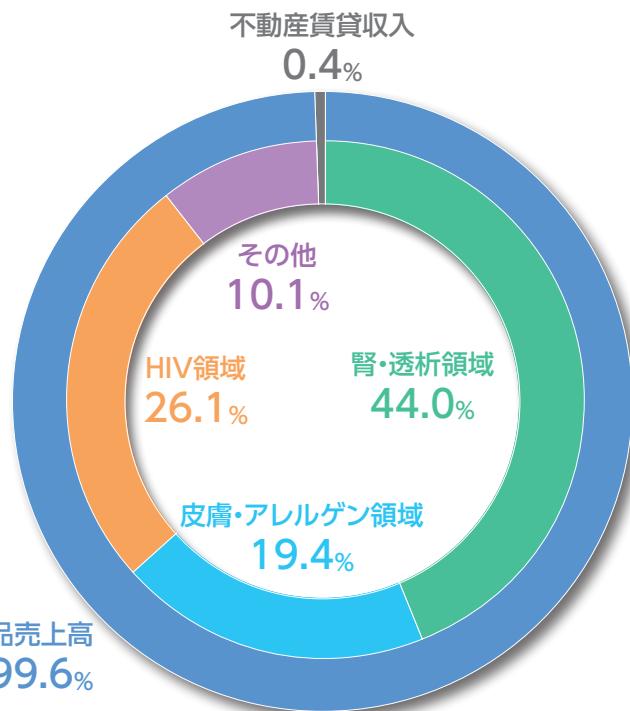


領域別および製商品別の概況

領域別売上高

(単位：百万円)

	前年同一期間* (2014年1月～6月)	2015年12月期第2四半期 (2015年1月～6月)
売上高	26,940	29,434
製商品売上高	26,828	29,313
腎・透析領域	10,913	12,959
皮膚・アレルギー領域	5,771	5,718
HIV領域	7,200	7,678
その他	2,942	2,957
不動産賃貸収入	111	120



主要製品・商品のご紹介

レミッチカプセル

経口そう痒症改善剤



血液透析患者の既存治療抵抗性の痒み(従来の止痒薬では効果が不十分な痒み)を改善する薬剤です。

リオナ錠

高リン血症治療剤



体内へのリンの吸収を抑制することにより、慢性腎臓病患者(血液・腹膜透析患者、保存期腎不全患者)の高リン血症を改善する薬剤です。

注射用フサン

蛋白分解酵素阻害剤



急性肺炎や汎発性血管内血液凝固症を治療する薬剤です。また、血液透析等の血液浄化療法を施行する際に回路内で血液が凝固しないようにする薬剤でもあります。

Overview of area-specific and product-specific

※当社は、2014年12月期から、決算期を毎年3月31日から毎年12月31日に変更しており、2014年12月期は9ヶ月決算となっております。
そのため、当期実績との比較として前年同一期間である2014年1月1日から2014年6月30日までの6ヶ月間の数値を記載しております。

製商品別売上高

(単位：百万円)

品名	前年同一期間* (2014年1月～6月)	2015年12月期第2四半期 (2015年1月～6月)
レミッチカプセル 経口そう痒症改善剤 腎・透析領域	7,041	7,419
ツルバダ配合錠 抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) HIV領域	5,999	6,131
アンテベート ^{※1} 外用副腎皮質ホルモン剤 皮膚・アレルギー領域	3,319	3,369
リオナ錠 ^{※2} 高リン血症治療剤 腎・透析領域	271	2,221
注射用フサン ^{※1} 蛋白分解酵素阻害剤 腎・透析領域	1,567	1,438
スタリビルド配合錠 抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) HIV領域	1,022	1,411
ケイキサレート ^{※1} 高カリウム血症改善剤 腎・透析領域	1,073	1,087
ビオスリー 活性生菌製剤(整腸剤) その他	1,005	1,078
ユリノーム錠 ^{※1} 尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) 腎・透析領域	959	791
ロコイド ^{※1} 外用副腎皮質ホルモン剤 皮膚・アレルギー領域	688	723
ドボネックス軟膏 尋常性乾癬治療剤 皮膚・アレルギー領域	874	656
ゼフナート 抗真菌薬 皮膚・アレルギー領域	664	615
マグセント 切迫早産における子宮収縮抑制剤・子癲の発症抑制・治療剤 その他	502	502
その他製商品 ^{※3}	1,837	1,865

※1 自社品

※2 「リオナ錠」は、2014年5月から販売しております。

※3 2014年10月から販売しております「シダトレン スギ花粉舌下液」は、152百万円の売上となりました。

アンテベート

外用副腎皮質ホルモン剤



アトピー性皮膚炎や接触皮膚炎等の皮膚疾患に対して炎症を抑えることによって症状を改善する薬剤です。

ツルバダ配合錠

抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬)



ヒト免疫不全ウイルス(HIV)逆転写酵素を阻害し、ウイルスの増殖を阻害する薬剤です。

スタリビルド配合錠

抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬)



ヒト免疫不全ウイルス(HIV)逆転写酵素およびインテグラーゼを阻害し、ウイルスの増殖を阻害する薬剤です。4成分を配合した薬剤で、国内で初めて、他剤と併用しないで1日1回1錠での治療が可能になりました。

研究開発の状況

主要な研究開発の状況につきましては、右図表の通りとなっております。

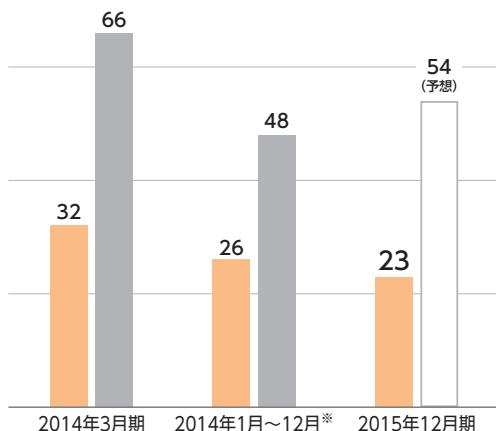
前回(第123期報告書)ご報告以降の変更点としましては、ALK-Abelló A/S (以下「ALK社」)から導入し、2014年12月に国内製造販売承認を取得いたしました室内塵ダニアレルギー疾患を対象とした減感作療法(アレルギー免疫療法)薬「治療用ダニアレルギーエキス皮下注「トリイ」(開発番号TO-204)」、アレルギー検査薬「スクラッチダニアレルギーエキス「トリイ」(開発番号TO-205)」につきまして、本年4月から販売を開始いたしました。

また、同じくALK社から導入し、国内製造販売承認申請中である、室内塵ダニアレルギー疾患(アレルギー性鼻炎)を対象とした減感作療法(アレルギー免疫療法)薬「TO-203」(舌下錠)につきまして、治療ニーズの高い小児適応に係る国内第Ⅲ相臨床試験を準備しております。

なお、スギ花粉症を対象とした減感作療法(アレルギー免疫療法)薬「TO-206」(舌下錠)につきましては、本年8月7日に国内第Ⅱ/Ⅲ相臨床試験において良好な速報結果を得ており、国内製造販売承認申請に向けて準備を進めております。

研究開発費の推移

■ 第2四半期(累計) ■ 通期 (単位: 億円)



*当社は、2014年12月期から、決算期を毎年3月31日から毎年12月31日に変更しており、2014年12月期は9ヶ月決算となっております。そのため、当期実績との比較として前年同一期間である2014年1月1日から2014年6月30日までの6ヶ月間の数値を記載しております。また、2015年12月期通期予想との比較として2014年1月1日から2014年12月31日までの12ヶ月間の数値を記載しております。

主要な研究開発品 (2015年7月)

開発番号	予定適応症等	剤形等
皮膚・アレルギー領域		
TO-203	室内塵ダニアレルギー疾患(アレルギー性鼻炎)(減感作療法(アレルギー免疫療法)薬)	舌下錠
	室内塵ダニアレルギー疾患(アレルギー性喘息)(減感作療法(アレルギー免疫療法)薬)	舌下錠
	室内塵ダニアレルギー疾患(小児アレルギー性鼻炎)(減感作療法(アレルギー免疫療法)薬)	舌下錠
TO-206	スギ花粉症(減感作療法(アレルギー免疫療法)薬)	舌下錠
JTE-350	アレルギー皮膚テスト実施時の陽性コントロール(ヒスタミン二塩酸塩製剤)	注射剤

※ 厚生労働省主催の「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検

新薬ができるまで

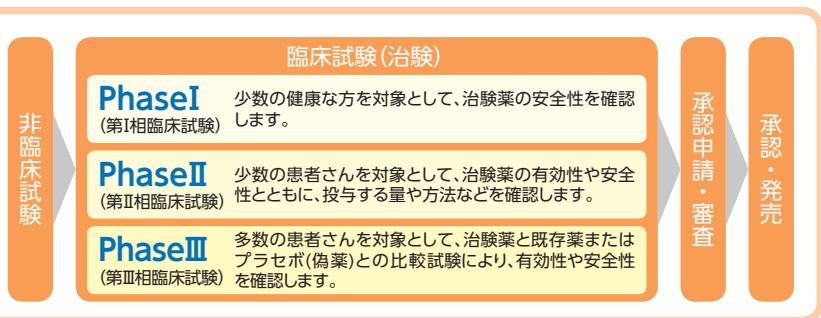
新薬の候補物質が新薬として認められる確率は約3万分の1と言われており、専門家による厳格な審査を経て、国からの承認を受けてようやく医薬品として世に送り出すことができます。

基礎研究

29日現在)

開発段階(国内)					備考
PhaseI	PhaseII	PhaseIII	申請	承認	
			申請		<ul style="list-style-type: none"> ● ALK社と日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ● 自社開発 ● 2015年1月26日に製造販売承認申請
	PhaseII/III				<ul style="list-style-type: none"> ● ALK社と日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ● 自社開発
		PhaseIII準備中			<ul style="list-style-type: none"> ● ALK社と日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ● 自社開発
	PhaseII/III				<ul style="list-style-type: none"> ● 自社開発
			申請		<ul style="list-style-type: none"> ● ALK社と日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結 ● JTとの共同開発 ● JTが2014年12月22日に製造販売承認申請

「討会議」における開発企業募集品であります。



新規抗HIV薬販売権の取得

当社は、本年3月に、日本たばこ産業株式会社(以下「JT」)との間で、ギリアド・サイエンス社が創製し、JTが日本国内での独占的開発・商業化権を保有する核酸系逆転写酵素阻害剤tenofovir alafenamide(TAF)を含む新規抗HIV薬2品について、JTが製造販売承認を取得した後、当社が日本国内において独占的に販売する契約を締結しました。

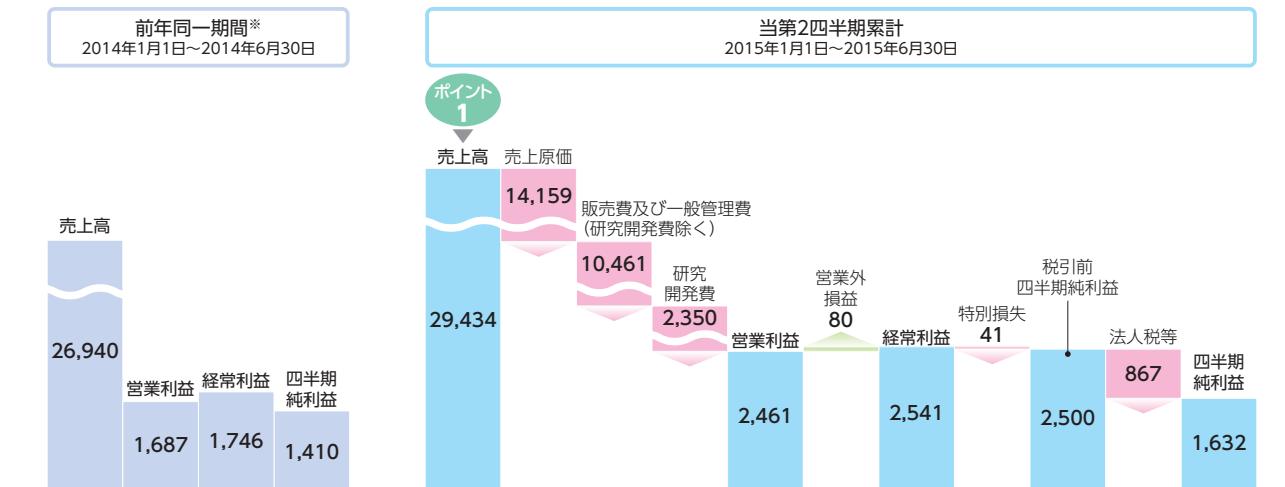
「レミッチカプセル」適応症の追加およびプロモーション契約の締結

東レ株式会社(以下「東レ」)が製造販売承認を取得し、当社が日本国内において販売中の「レミッチカプセル」について、東レは、本年5月に「慢性肝疾患患者におけるそう痒症の改善(既存治療で効果不十分な場合に限る)」(以下「新適応症」)を新たな効能又は効果として製造販売承認事項一部変更承認を取得しました。新適応症を対象とした医療機関への医薬情報提供活動については、当社と大日本住友製薬株式会社(以下「大日本住友製薬」)の間で締結したプロモーション契約に基づき、大日本住友製薬が本年5月から開始しております。

財務諸表の概要

損益計算書の概要 (単位：百万円)

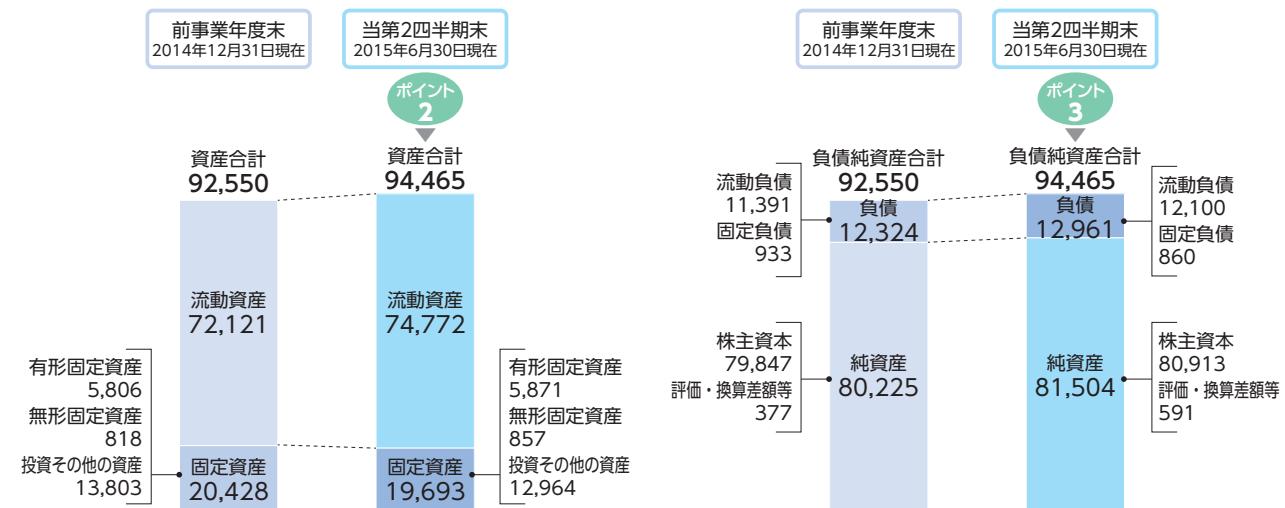
※当社は、2014年12月期から、決算期を毎年3月31日から毎年12月31日に変更しており、2014年12月期は9ヶ月決算となっております。そのため、当期実績との比較として前年同一期間である2014年1月1日から2014年6月30日までの6ヶ月間の数値を記載しております。



貸借対照表の概要 (単位：百万円)

資産の部

負債・純資産の部



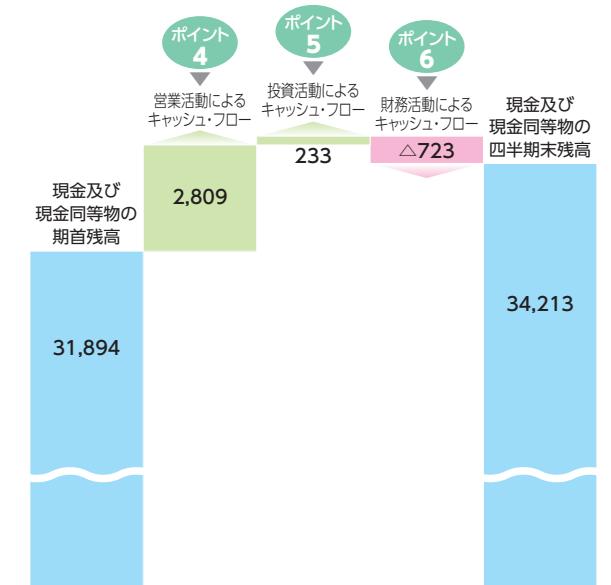
▶▶▶ 詳しい財務情報は当社IRサイトをご覧ください。

鳥居薬品 IR

検索

キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位: 百万円)

当第2四半期累計
2015年1月1日~2015年6月30日



ポイント1 売上高の状況

売上高は、2014年5月から販売しております「リオナ錠」のほか、「スタリビルド配合錠」「レミッチカプセル」の伸長等により、29,434百万円と前年同一期間に比べ2,493百万円(9.3%)増加しました。(2015年12月期第2四半期累計期間の経営成績に関する詳細はP.1「経営成績について」をご覧ください。)

ポイント2 資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は、94,465百万円と前事業年度末に比べ1,915百万円(2.1%)増加しました。これは、キャッシュ・マネージメント・システム預託金が9,320百万円、受取手形及び売掛金が622百万円減少しましたが、現金及び預金が6,739百万円、有価証券が4,594百万円、商品及び製品が648百万円増加したこと等によるものです。

ポイント3 負債及び純資産の状況

負債につきましては、12,961百万円と前事業年度末に比べ636百万円(5.2%)増加しました。これは、未払法人税等が644百万円増加したこと等によるものです。

純資産につきましては、81,504百万円と前事業年度末に比べ1,279百万円(1.6%)増加しました。これは、主に利益剰余金が1,066百万円増加したことによるものです。

ポイント4 営業活動によるキャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益が2,500百万円、減価償却費が700百万円、売上債権の減少額が622百万円となり、たな卸資産の増加額が885百万円、法人税等の支払額が239百万円となったこと等により2,809百万円の収入となりました。

ポイント5 投資活動によるキャッシュ・フローの状況

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が457百万円となりましたが、有価証券の売却及び償還による収入が900百万円となったこと等により233百万円の収入となりました。

ポイント6 財務活動によるキャッシュ・フローの状況

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払額が565百万円となったことにより723百万円の支出となりました。

株式数

発行可能株式総数	54,000,000株
発行済株式総数	28,800,000株

株主数

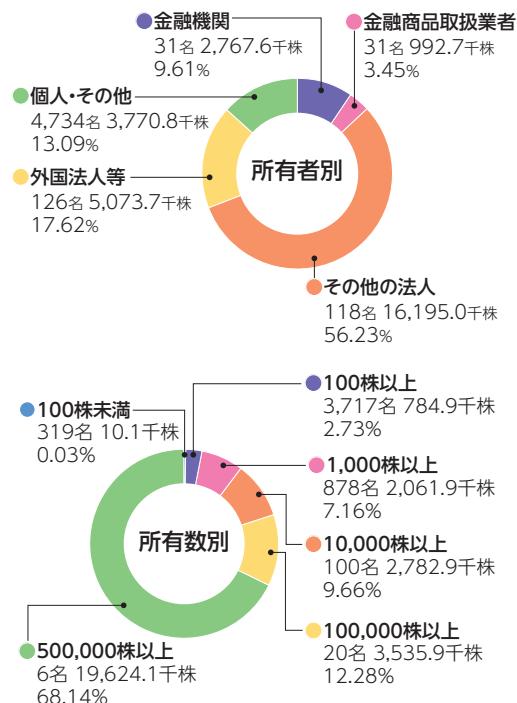
株主数 (単元未満株主を含む)	5,040名
-----------------	--------

大株主

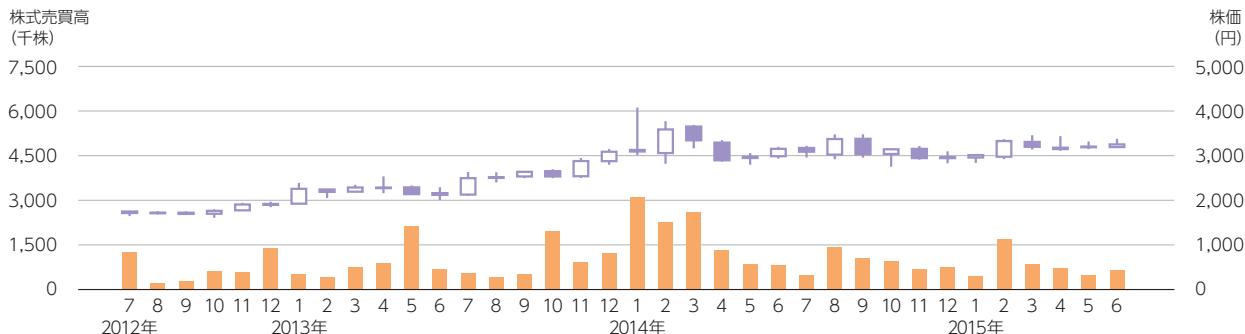
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本たばこ産業株式会社	15,398.8	53.46
ロイヤルバンクオブカナダトラストカンパニー(ケイマン)リミテッド	1,871.9	6.49
立花証券株式会社	747.2	2.59
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	564.6	1.96
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	541.3	1.87
株式会社三井住友銀行	340.8	1.18
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505223	274.4	0.95
鳥居薬品従業員持株会	265.9	0.92
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	248.0	0.86
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	235.0	0.81

(注)上記の他、当社が保有する自己株式数は500.3千株(持株比率1.73%)であります。

株式分布状況



株価および株式売買高の推移 (2012年7月~2015年6月)



会社概要

商号	鳥居薬品株式会社
設立	1921年(大正10年)11月1日
資本金	5,190百万円
主要な事業内容	医薬品の製造・販売
従業員数	1,061名 (注)従業員数は、当社から他社への出向者を除き、他社から当社への出向者を含む就業人数であります。
本社	〒103-8439 東京都中央区日本橋本町3-4-1 トリイ日本橋ビル TEL:03-3231-6811(代表)
主な事業所	札幌支店、仙台支店、北関東支店(高崎)、 南関東支店(さいたま)、東京支店、横浜支店、 名古屋支店、京都支店、大阪支店、神戸支店、 高松支店、広島支店、福岡支店、 南九州支店(熊本)、佐倉工場、 研究所(佐倉工場内)

役員

取締役・監査役

取締役会長	松尾 紀彦	取締役	假屋ゆう子
代表取締役社長	高木正一郎	取締役	角南 正記
専務取締役	籠橋 雄二	取締役	鳥養 雅夫
常務取締役	田村 明彦	常勤監査役	長 誠次
常務取締役	梅田 高弘	常勤監査役	古谷 幸友
		監査役	會澤 恒

執行役員

執行役員	林 秀岳	執行役員	太田 尚
執行役員	相川 由幸	執行役員	野田 優
執行役員	千葉 昌	執行役員	森崎 信也
執行役員	藤原 勝伸	執行役員	掛江 敦之

(注)1. 取締役 鳥養 雅夫は、社外取締役であります。

(注)2. 監査役 長 誠次、會澤 恒は、社外監査役であります。

(注)3. 取締役 鳥養 雅夫、監査役 會澤 恒は、東京証券取引所の規則に定める独立役員として同取引所に届け出ております。

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
基準日	定時株主総会・期末配当：毎年12月31日 中間配当：毎年6月30日
公告方法	日本経済新聞に掲載
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先(電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL:0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

住所変更、单元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

◆ ホームページのご案内

当社ホームページの「株主・投資家の皆様へ」では、決算短信等のIR情報をご覧いただけます。

<http://www.torii.co.jp/ir/index.html>

TOPページ



鳥居薬品

検索

IRページ



将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

なお、現時点において、実際の業績等に影響を与えるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができま。 (かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。)

- 医薬品医療機器法その他の法令または規制の変化
- 研究開発の遅延または中止
- 薬価の決定、改定
- 副作用の発現
- 製商品の供給停止、回収
- 訴訟の提起



鳥居薬品株式会社

〒103-8439 東京都中央区日本橋本町3-4-1 トリイ日本橋ビル
TEL 03-3231-6811 (代表)

